

平成 30 年度
決算 報告 書

(第 54 期 平成 30 年 4 月 1 日)
 平成 31 年 3 月 31 日

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	3,394,562,085	3,584,114,311	△ 189,552,226
貸付金	14,020,976,000	14,410,553,000	△ 389,577,000
立替金	100,000	1,200,000	△ 1,100,000
前払費用	0	59,280	△ 59,280
未収金	168,676,961	137,480,604	31,196,357
貸倒引当金	△ 538,542,000	△ 544,073,000	5,531,000
流動資産合計	17,045,773,046	17,589,334,195	△ 543,561,149
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	240,000,000	240,000,000	0
基本財産合計	240,000,000	240,000,000	0
(2) 特定資産			
収支変動対応資産	207,350,000	207,350,000	0
電話機一式取得積立資産	0	1,593,000	△ 1,593,000
融資システム移行費用積立資産	20,491,161	0	20,491,161
サーバ機器購入積立資産	27,353,160	0	27,353,160
ソフトウェア取得積立資産	19,818,000	0	19,818,000
特定資産合計	275,012,321	208,943,000	66,069,321
(3) その他固定資産			
建 物	6,831,449	530,813	6,300,636
什器備品	2,264,277	881,918	1,382,359
リース資産	3,093,552	1,228,608	1,864,944
電話加入権	34,000	34,000	0
ソフトウェア	17,983,667	20,822,000	△ 2,838,333
投資有価証券	760,000,000	760,000,000	0
長期前払費用	1,500	1,500	0
前払年金費用	20,375,321	0	20,375,321
その他固定資産合計	810,583,766	783,498,839	27,084,927
固定資産合計	1,325,596,087	1,232,441,839	93,154,248
資 産 合 計	18,371,369,133	18,821,776,034	△ 450,406,901
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	28,985,194	14,160,991	14,824,203
未払法人税等	23,700	23,700	0
前受金	16,225,716	16,631,571	△ 405,855
預り金	19,601,017	16,072,175	3,528,842
1年内返済予定長期借入金	17,700,000,000	18,200,000,000	△ 500,000,000
賞与引当金	17,313,910	18,500,869	△ 1,186,959
流動負債合計	17,782,149,537	18,265,389,306	△ 483,239,769
2 固定負債			
預り保証金	3,672,000	5,582,000	△ 1,910,000
退職給付引当金	0	626,134	△ 626,134
リース債務	3,093,552	1,228,608	1,864,944
固定負債合計	6,765,552	7,436,742	△ 671,190
負 債 合 計	17,788,915,089	18,272,826,048	△ 483,910,959
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	20,000,000	20,000,000	0
指定正味財産合計	20,000,000	20,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産	562,454,044	528,949,986	33,504,058
(うち基本財産への充当額)	(220,000,000)	(220,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(275,012,321)	(208,943,000)	(66,069,321)
正味財産合計	582,454,044	548,949,986	33,504,058
負債及び正味財産合計	18,371,369,133	18,821,776,034	△ 450,406,901

正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	3,628,011	3,657,994	△ 29,983
② 事業収益	516,884,826	498,138,230	18,746,596
経営活性化貸付金利息	346,995,534	355,246,112	△ 8,250,578
創業・事業展開支援貸付金利息	14,357,846	18,841,488	△ 4,483,642
商店街活性化貸付金利息	815,072	870,737	△ 55,665
ものづくり設備導入貸付金利息	907,038	1,203,142	△ 296,104
経営支援貸付金利息	208,000	712,834	△ 504,834
償却債権回収金	153,601,336	120,521,407	33,079,929
名古屋市小規模企業経営力強化 設備投資補助事業受託料	0	742,510	△ 742,510
③ 受取補償金	159,475,500	128,129,500	31,346,000
損失補償金	159,475,500	128,129,500	31,346,000
④ 雑収益	9,665,968	9,764,297	△ 98,329
経常収益計	689,654,305	639,690,021	49,964,284
(2) 経常費用			
① 事業費	609,813,367	535,368,256	74,445,111
人件費	218,720,808	244,688,836	△ 25,968,028
物件費	68,971,875	56,605,298	12,366,577
借入金利息	8,700,684	8,927,122	△ 226,438
貸倒引当金繰入額	313,420,000	225,147,000	88,273,000
② 管理費	46,279,547	46,843,764	△ 564,217
人件費	38,491,000	40,208,092	△ 1,717,092
物件費	7,788,547	6,635,672	1,152,875
経常費用計	656,092,914	582,212,020	73,880,894
評価損益等調整前当期経常増減額 (A)	33,561,391	57,478,001	△ 23,916,610
評価損益等計 (B)	0	0	0
当期経常増減額 (C) (A+B)	33,561,391	57,478,001	△ 23,916,610
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産除却損	57,333	40,732	16,601
経常外費用計	57,333	40,732	16,601
当期経常外増減額 (D)	△ 57,333	△ 40,732	△ 16,601
当期一般正味財産増減額 (E) (C+D)	33,504,058	57,437,269	△ 23,933,211
一般正味財産期首残高 (F)	528,949,986	471,512,717	57,437,269
一般正味財産期末残高 (G) (E+F)	562,454,044	528,949,986	33,504,058
II 指定正味財産増減の部			
① 基本財産運用益	302,334	304,833	△ 2,499
② 一般正味財産への振替額	△ 302,334	△ 304,833	2,499
当期指定正味財産増減額 (H)	0	0	0
指定正味財産期首残高 (I)	20,000,000	20,000,000	0
指定正味財産期末残高 (J) (H+I)	20,000,000	20,000,000	0
III 正味財産期末残高 (K) (G+J)	582,454,044	548,949,986	33,504,058

正味財産増減計算書内訳表

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
	融資事業		
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	0	3,628,011	3,628,011
基本財産運用益	0	3,325,677	3,325,677
基本財産運用益振替額	0	302,334	302,334
② 事業収益	474,238,168	42,646,658	516,884,826
経営活性化貸付金利息	306,261,876	40,733,658	346,995,534
創業・事業展開支援貸付金利息	12,671,846	1,686,000	14,357,846
商店街活性化貸付金利息	719,072	96,000	815,072
ものづくり設備導入貸付金利息	800,038	107,000	907,038
経営支援貸付金利息	184,000	24,000	208,000
償却債権回収金	153,601,336	0	153,601,336
③ 受取補償金	159,475,500	0	159,475,500
損失補償金	159,475,500	0	159,475,500
④ 雑収益	9,661,090	4,878	9,665,968
受取利息	13,461	0	13,461
有価証券運用益	9,647,629	0	9,647,629
雑収益	0	4,878	4,878
経常収益計	643,374,758	46,279,547	689,654,305
(2) 経常費用			
① 事業費	609,813,367		609,813,367
(人件費)	218,720,808		218,720,808
給料手当	179,287,352		179,287,352
通勤手当	4,961,526		4,961,526
退職給付費用	3,128,618		3,128,618
福利厚生費	31,343,312		31,343,312
(物件費)	68,971,875		68,971,875
調査費	3,524,128		3,524,128
施策普及費	3,802,672		3,802,672
債権管理費	10,563,604		10,563,604
委託費	11,876,240		11,876,240
会議費	773,966		773,966
旅費交通費	345,090		345,090
通信費	1,988,021		1,988,021
水道光熱費	1,129,556		1,129,556
燃料費	310,450		310,450
消耗品費	5,445,070		5,445,070
租税公課	605,000		605,000
修繕費	207,511		207,511
賃借料	16,025,191		16,025,191
印刷費	532,783		532,783
図書費	541,690		541,690
保険料	425,890		425,890
支払手数料	2,676,398		2,676,398
研修費	683,603		683,603
雑費	278,326		278,326
減価償却費	7,236,686		7,236,686
(借入金利息)	8,700,684		8,700,684
借入金利息	8,700,684		8,700,684
(貸倒引当金繰入額)	313,420,000		313,420,000
貸倒引当金繰入額	313,420,000		313,420,000

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
	融資事業		
② 管理費		46,279,547	46,279,547
(人件費)		38,491,000	38,491,000
役員報酬		12,849,360	12,849,360
給料手当		19,418,200	19,418,200
通勤手当		955,418	955,418
退職給付費用		△ 591,884	△ 591,884
福利厚生費		5,859,906	5,859,906
(物件費)		7,788,547	7,788,547
会議費		125,570	125,570
旅費交通費		37,290	37,290
通信費		240,434	240,434
水道光熱費		168,785	168,785
消耗品費		1,092,895	1,092,895
租税公課		23,700	23,700
賃借料		2,450,049	2,450,049
接待交際費		10,000	10,000
印刷費		59,707	59,707
図書費		144,480	144,480
支払手数料		3,090,132	3,090,132
研修費		182,847	182,847
雑費		84,203	84,203
減価償却費		78,455	78,455
経常費用計	609,813,367	46,279,547	656,092,914
評価損益等調整前当期経常増減額 (A)	33,561,391	0	33,561,391
評価損益等計 (B)	0	0	0
当期経常増減額 (C) (A+B)	33,561,391	0	33,561,391
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	49,879	7,454	57,333
経常外費用計	49,879	7,454	57,333
当期経常外増減額 (D)	△ 49,879	△ 7,454	△ 57,333
他会計振替前当期一般正味財産増減額 (E) (C+D)	33,511,512	△ 7,454	33,504,058
他会計振替額 (F)	0	0	0
当期一般正味財産増減額 (G) (E+F)	33,511,512	△ 7,454	33,504,058
一般正味財産期首残高 (H)	304,511,755	224,438,231	528,949,986
一般正味財産期末残高 (I) (G+H)	338,023,267	224,430,777	562,454,044
II 指定正味財産増減の部			
① 基本財産運用益	0	302,334	302,334
基本財産運用益	0	302,334	302,334
② 一般正味財産への振替額	0	△ 302,334	△ 302,334
一般正味財産への振替額	0	△ 302,334	△ 302,334
当期指定正味財産増減額 (J)	0	0	0
指定正味財産期首残高 (K)	0	20,000,000	20,000,000
指定正味財産期末残高 (L) (J+K)	0	20,000,000	20,000,000
III 正味財産期末残高 (M) (I+L)	338,023,267	244,430,777	582,454,044

キャッシュ・フロー計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 事業活動によるキャッシュ・フロー			
1 当期一般正味財産増減額 (A)	33,504,058	57,437,269	△ 23,933,211
2 キャッシュ・フローへの調整額			
① 減価償却費	7,315,141	8,044,314	△ 729,173
② 固定資産除却損	57,333	40,732	16,601
③ 貸倒引当金の増減額	△ 5,531,000	△ 31,112,000	25,581,000
④ 前払年金費用の増減額	△ 20,375,321	1,397,294	△ 21,772,615
⑤ 賞与引当金の増減額	△ 1,186,959	△ 1,136,978	△ 49,981
⑥ 退職給付引当金の増減額	△ 626,134	626,134	△ 1,252,268
⑦ 貸付金の増減額	389,577,000	846,818,000	△ 457,241,000
⑧ 立替金の増減額	1,100,000	100,000	1,000,000
⑨ 前払費用の増減額	59,280	270,807	△ 211,527
⑩ 未収金の増減額	△ 31,196,357	67,078,591	△ 98,274,948
⑪ 長期前払費用の増減額	0	21,000	△ 21,000
⑫ 未払金の増減額	14,824,203	5,771,468	9,052,735
⑬ 前受金の増減額	△ 405,855	△ 1,298,791	892,936
⑭ 預り金の増減額	3,528,842	2,604,884	923,958
⑮ 預り保証金の増減額	△ 1,910,000	△ 505,000	△ 1,405,000
⑯ 指定正味財産からの振替額	△ 302,334	△ 304,833	2,499
小 計 (B)	354,927,839	898,415,622	△ 543,487,783
3 指定正味財産増加収入			
① 基本財産運用収入	302,334	304,833	△ 2,499
指定正味財産増加収入計 (C)	302,334	304,833	△ 2,499
事業活動によるキャッシュ・フロー (D) <A+B+C>	388,734,231	956,157,724	△ 567,423,493
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 投資活動収入			
① 3ヶ月超定期預金満期収入	80,000,000	80,000,000	0
② ソフトウェア取得積立資産取崩収入	0	19,727,980	△ 19,727,980
③ 電話機一式取得積立資産取崩収入	1,593,000	0	1,593,000
投資活動収入計	81,593,000	99,727,980	△ 18,134,980
2 投資活動支出			
① 固定資産取得支出	11,127,200	21,302,480	△ 10,175,280
② 特定資産取得支出			
収支変動対応資産支出	0	7,720,491	△ 7,720,491
融資システム移行費用積立資産支出	20,491,161	0	20,491,161
サーバ機器購入積立資産支出	27,353,160	0	27,353,160
ソフトウェア取得積立資産支出	19,818,000	0	19,818,000
電話機一式取得積立資産支出	0	1,593,000	△ 1,593,000
③ 3ヶ月超定期預金預入支出	80,000,000	80,000,000	0
投資活動支出計	158,789,521	110,615,971	48,173,550
投資活動によるキャッシュ・フロー (E)	△ 77,196,521	△ 10,887,991	△ 66,308,530
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 財務活動収入			
① 借入金収入	17,700,000,000	18,200,000,000	△ 500,000,000
財務活動収入計	17,700,000,000	18,200,000,000	△ 500,000,000
2 財務活動支出			
① 借入金返済支出	18,200,000,000	19,300,000,000	△ 1,100,000,000
② リース債務返済支出	1,089,936	1,073,088	16,848
財務活動支出計	18,201,089,936	19,301,073,088	△ 1,099,983,152
財務活動によるキャッシュ・フロー (F)	△ 501,089,936	△ 1,101,073,088	599,983,152
IV 現金及び現金同等物の増減額 (G) <D+E+F>	△ 189,552,226	△ 155,803,355	△ 33,748,871
V 現金及び現金同等物の期首残高 (H)	3,504,114,311	3,659,917,666	△ 155,803,355
VI 現金及び現金同等物の期末残高 (I) <G+H>	3,314,562,085	3,504,114,311	△ 189,552,226

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

公益法人会計基準（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券については、償却原価法（定額法）によっている。ただし、額面と取得価額の差額に重要性が乏しい場合、取得価額で記載している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・有形固定資産
定率法（平成28年4月1日以後に取得した建物付属設備については定額法）によっている。
 - ・無形固定資産
定額法によっている。
 - ・リース資産
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
 - ・貸倒引当金
貸倒引当金は、個別評価債権と一般債権に分類し、過去の一定期間における各々の貸倒実績率等に基づき算出した額から、名古屋市による貸倒償却に対する損失補償割合を控除して計上している。
 - ・退職給付引当金
職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。
 - ・賞与引当金
職員の賞与の支給等に備えるため、賞与支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
- (4) リース取引の処理方法
所有権移転外ファイナンスリース取引はリース資産として車両運搬具を計上しており、その他重要性の乏しいリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
- (5) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲
資金の範囲には、現金及び現金同等物を含めている。
- (6) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2 会計方針の変更

変更は特にありません。

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	240,000,000	0	0	240,000,000
小 計	240,000,000	0	0	240,000,000
特定資産				
収支変動対応資産	207,350,000	0	0	207,350,000
電話機一式取得積立資産	1,593,000	0	1,593,000	0
融資システム移行費用積立資産	0	20,491,161	0	20,491,161
サーバ機器購入積立資産	0	27,353,160	0	27,353,160
ソフトウェア取得積立資産	0	19,818,000	0	19,818,000
小 計	208,943,000	67,662,321	1,593,000	275,012,321
合 計	448,943,000	67,662,321	1,593,000	515,012,321

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当額)	(うち一般正味 財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	240,000,000	(20,000,000)	(220,000,000)	—
小 計	240,000,000	(20,000,000)	(220,000,000)	—
特定資産				
収支変動対応資産	207,350,000	0	(207,350,000)	—
融資システム移行費用積立資産	20,491,161	0	(20,491,161)	—
サーバ機器購入積立資産	27,353,160	0	(27,353,160)	—
ソフトウェア取得積立資産	19,818,000	0	(19,818,000)	—
小 計	275,012,321	0	(275,012,321)	—
合 計	515,012,321	(20,000,000)	(495,012,321)	—

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
有形固定資産			
建 物	11,185,100	4,353,651	6,831,449
什 器 備 品	37,246,080	34,981,803	2,264,277
リ ー ス 資 産	4,672,080	1,578,528	3,093,552
無形固定資産			
ソ フ ト ウ ェ ア	28,600,000	10,616,333	17,983,667
合 計	81,703,260	51,530,315	30,172,945

6 保証債務（債務の保証を主たる目的事業とする場合を除く。）等の偶発債務

三菱UFJ銀行との間における支払保証委託取引残高は23,500,000円である。

7 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種 類 及 び 銘 柄	帳簿価額	時 価	評価損益
基本財産			
地方債（名古屋市第16回20年公募公債）	240,000,000	283,343,520	43,343,520
小 計	240,000,000	283,343,520	43,343,520
投資有価証券			
地方債（名古屋市第16回20年公募公債）	60,000,000	70,835,880	10,835,880
地方債（愛知県平成26年度第13回公募公債）	300,000,000	346,770,000	46,770,000
地方債（名古屋市第17回20年公募公債）	200,000,000	226,946,200	26,946,200
地方債（愛知県平成27年度第14回公募公債）	200,000,000	224,040,000	24,040,000
小 計	760,000,000	868,592,080	108,592,080
合 計	1,000,000,000	1,151,935,600	151,935,600

8 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
損失補償金	名古屋市	128,129,500	159,475,500	128,129,500	159,475,500	未収金
合 計		128,129,500	159,475,500	128,129,500	159,475,500	—

9 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 訳	金 額
経常収益への振替額	
基本財産運用益振替額	302,334
合 計	302,334

10 キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は、次のとおりである。

(単位：円)

前 期 末		当 期 末	
現金預金勘定	3,584,114,311	現金預金勘定	3,394,562,085
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△ 80,000,000	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△ 80,000,000
現金及び現金同等物	3,504,114,311	現金及び現金同等物	3,314,562,085

(2) 重要な非資金取引 該当なし

11 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として、退職一時金制度及び確定給付企業年金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳 (単位：円)

① 退職給付債務	△ 296,214,112
② 年金資産	316,589,433
③ 前払年金費用	20,375,321
④ 退職給付引当金 (①+②-③)	0

(3) 退職給付費用に関する事項 (単位：円)

① 勤務費用	2,536,734
② 退職給付費用	2,536,734

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、財務諸表に対する注記3に記載しているため、内容の記載を省略する。

2 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	18,500,869	17,313,910	18,500,869	0	17,313,910
貸倒引当金	544,073,000	313,420,000	318,951,000	0	538,542,000
退職給付引当金	626,134	0	626,134	0	0

財 産 目 録

平成31年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額		
(流動資産)	現金預金	〈現金〉 ○融資事業 手元保管	運転資金として	132,617	
		〈当座預金〉 ○融資事業 三菱UFJ銀行今池支店 1口	運転資金として	62,603,540	
		〈普通預金〉 ○融資事業 三菱UFJ銀行柳橋支店始め10口	運転資金として	3,235,608,813	
		○法人会計 三菱UFJ銀行柳橋支店 1口	運転資金として	4,526,795	
		〈郵便振替〉 ○融資事業 ゆうちょ銀行 1口	運転資金として	11,690,320	
		〈定期預金〉 ○融資事業 名古屋銀行本店始め8口	運転資金として	80,000,000	
		〈現金預金計〉		3,394,562,085	
	貸付金	○融資事業 経営活性化資金融資 3,110件 (うち不動産資金 150件 1,278,413,000円) (うち特別支援資金 5件 2,617,000円)	経営活性化資金融資の残高	13,239,854,000	
		創業・事業展開支援資金融資 222件	創業・事業展開支援資金融資の残高	498,692,000	
		商店街活性化促進資金融資 5件	商店街活性化促進資金融資の残高	52,224,000	
		ものづくり設備導入資金融資 53件 (うち特別資金 43件 185,834,000円) (うち機械類貸与 7件 27,975,000円)	ものづくり設備導入資金融資の残高	225,192,000	
		経営支援特別資金融資 14件	経営支援特別資金融資の残高	5,014,000	
		〈貸付金計〉		14,020,976,000	
	立替金	○融資事業 名古屋地方裁判所	特別代理人選任予納金	100,000	
	未収金	○融資事業 名古屋市	損失補償金	159,475,500	
未収利息 446件 名古屋市公債始め4銘柄		経営活性化資金融資等の未収利息 名古屋市公債始め4銘柄の経過利息	4,652,568 3,439,502		
○法人会計 名古屋市公債1銘柄		名古屋市公債1銘柄の経過利息	1,109,391		
〈未収金計〉		168,676,961			
貸倒引当金	○融資事業	貸付金の貸倒に備えるための引当金	△ 538,542,000		
流動資産合計			17,045,773,046		
(固定資産)	基本財産	投資有価証券	○法人会計 名古屋市第16回20年公募公債	運用益を管理運営の財源として使用している	240,000,000
		特定資産	収支変動対応資産 〈普通預金〉	○融資事業 三菱UFJ銀行柳橋支店	将来の収支変動に備えるため積立てている特定費用準備資金
		融資システム移行費用積立資産 〈普通預金〉	○融資事業 三菱UFJ銀行柳橋支店	融資システムの移行費用として積み立てている特定費用準備資金	20,491,161
		サーバ機器購入積立資産 〈普通預金〉	○融資事業 三菱UFJ銀行柳橋支店	公益目的保有財産であるサーバ機器一式の買換のための資産取得資金	27,353,160
		ソフトウェア取得積立資産 〈普通預金〉	○融資事業 三菱UFJ銀行柳橋支店	融資システムの改修のため積み立てている資産取得資金	19,818,000
	〈特定資産計〉			275,012,321	
	その他 固定資産	建 物	○融資事業、法人会計共用 名古屋市千種区吹上二丁目6番3号 5階 〈建物附属設備〉 会議室(南側)簡易間仕切始め 3点	(共用財産) うち87%を公益目的保有財産として 融資事業に使用している うち13%を管理運営に使用している	5,943,357 888,088
			○融資事業 〈建物附属設備〉 東倉庫簡易間仕切始め 4点	公益目的保有財産として融資事業に使用している	4
		〈建物計〉			6,831,449
		什器備品	○融資事業、法人会計共用 耐火金庫始め15点	(共用財産) うち87%を公益目的保有財産として 融資事業に使用している うち13%を管理運営に使用している	1,379,416 206,119

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	リース資産	○融資事業 三重連収納庫始め14点	公益目的保有財産として融資事業に 使用している	678,732
		○法人会計 応接セット始め10点	管理運営に使用している	10
			＜什器備品計＞	2,264,277
	電話加入権	○融資事業 車両運搬具5台	融資事業の運営に使用している	3,093,552
		○融資事業、法人会計共用 電話回線17本	(共用財産) うち87%を公益目的保有財産として 融資事業に使用している うち13%を管理運営に使用している	29,580
			＜電話加入権計＞	34,000
	ソフトウェア	○融資事業 コンピュータ制作費4件	公益目的保有財産として融資事業に 使用している	17,983,667
	投資有価証券	○融資事業 名古屋市第16回20年公募公債始め4銘柄	運用益を融資事業の財源として使用 している	760,000,000
	長期前払費用	○融資事業 名古屋市交通局	マナカ発行保証金	500
		○法人会計 名古屋市交通局	マナカ発行保証金	1,000
			＜長期前払費用計＞	1,500
	前払年金費用	○融資事業 日本生命保険相互会社	退職給付会計による確定給付企業 年金制度の年金資産超過額	18,702,835
		○法人会計 日本生命保険相互会社	退職給付会計による確定給付企業 年金制度の年金資産超過額	1,672,486
			＜前払年金費用計＞	20,375,321
固定資産合計				1,325,596,087
資産合計				18,371,369,133
(流動負債)	未払金	○融資事業 業者等に対する未払額 ○法人会計 業者等に対する未払額	3月分事務室共益費・電気料等 3月分振込手数料等	27,716,722 1,268,472
			＜未払金計＞	28,985,194
	未払法人税	○法人会計 平成30年度法人市民税の未払額	平成30年度法人市民税納付額	23,700
	前受金	○融資事業 未経過利息2,458件	経営活性化資金融資等の未経過利息	16,225,716
	預り金	○融資事業 名古屋市 融資事業の預り金 職員等からの預り金	損失補償回収金返還 貸付償還金の少額過納金等 3月分住民税等	15,188,700 3,099,249 1,305,628
		○法人会計 非常勤役員からの預り金	3月分源泉所得税	7,440
			＜預り金計＞	19,601,017
	1年内返済予定 長期借入金	○融資事業 名古屋市	融資事業のための借入金	17,700,000,000
	賞与引当金	○融資事業 職員に対するもの ○法人会計 職員に対するもの	融資事業に従事する職員に対する賞与 支給見込額等のうち当期に帰属する額 法人会計に従事する職員に対する賞与 支給見込額等のうち当期に帰属する額	15,718,072 1,595,838
			＜賞与引当金計＞	17,313,910
流動負債合計				17,782,149,537
(固定負債)	預り保証金	○融資事業 預り保証金	機械類貸与の預り保証金	3,672,000
	リース債務	○融資事業 名鉄協商株	車両運搬具リース料の残金	3,093,552
固定負債合計				6,765,552
負債合計				17,788,915,089
正味財産				582,454,044

監査報告書

令和元年5月17日

公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社
理事長 中根卓郎様

公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社

監事 浅野潤 ㊞

監事 山田和義 ㊞

私たち監事は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの事業年度の監査を行いましたので、その方法及び結果について以下のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人の業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法に基づき、当該事業年度にかかる事業報告について検討しました。

さらに、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第42条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。以上の方法に基づき、当該事業年度にかかる計算書類及びその附属明細書並びに財産目録及びキャッシュ・フロー計算書について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告書の内容は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当であり、当該体制の運用状況につき指摘すべき事項はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録及びキャッシュ・フロー計算書の監査結果

会計監査人後藤貞明公認会計士の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

独立監査人の監査報告書

2019年5月13日

公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社
理事長 中根卓郎 殿

後藤公認会計士事務所
公認会計士 後藤 貞明 ㊞

<財務諸表監査>

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づき、公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社の平成30年4月1日から平成31年3月31日までの事業年度の貸借対照表及び損益計算書（公益認定等ガイドラインI-5(1)の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）並びにその附属明細書並びにキャッシュ・フロー計算書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

私の責任は、私が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、私の判断により、不正又は誤謬による財務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

<財産目録に対する意見>

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づき、公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社の平成31年3月31日現在の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

財産目録に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財産目録を作成することにある。

監査人の責任

私の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、貸借対照表及び公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

財産目録に対する意見

私は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、貸借対照表及び公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

利害関係

公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上